



未来は 自分で考えて つくるもの

人は一生の中で、「子供・生徒・友達・部活動の仲間・家族の一員・働く人」などのいろいろな立場を経験します。その中で、「自分に何ができるか」「何を大切にしたいか」「自分に合っていることは何か」に気付いていきます。そうした経験がつながり、積み重なり、将来の生き方をつくっていきます。

自分の未来の姿について、先生や家族と一緒^{いっしょ}に考えましょう。

未来のキャリアについて考えるために

社会や職業を知る

- 社会環境^{かんきょう}の大きな変化と未来の働き方
- 富山県の今の仕事、未来の仕事
- 先輩^{せんぱい}から「働くこと」について学ぶ

必要な力を 身に付ける

- 自分の役割を果たすために身に付けたい力

自分を知る

- 自分の未来を考えるために、今の自分を知ろう
- なりたい自分に近づくために、学ぶ意義を探ろう
- 働くことを実感しよう
ー社会に学ぶ「14歳の挑戦」ー
- 自分と向き合い、将来のやりたいことを見付けよう

未来を描く

- 君の未来を想像しよう
- 未来をつくる新たな高校
～「新時代とやまハイスクール構想」の学校像～

知ろう！

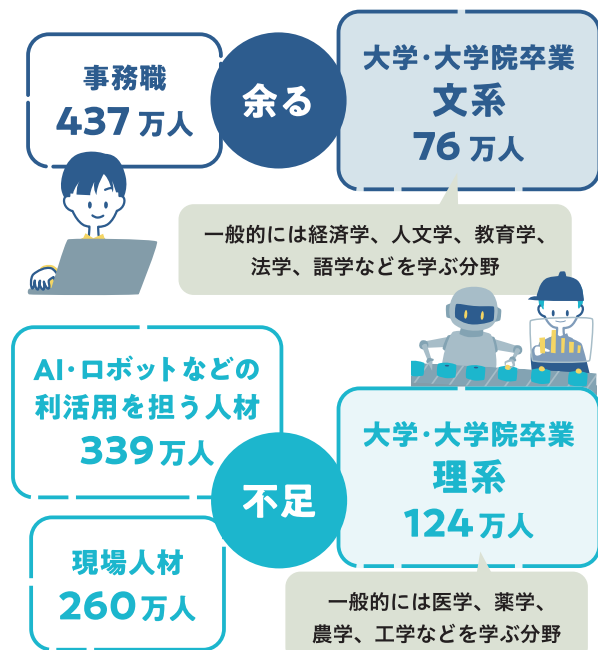
社会環境の大きな変化と未来の働き方

2040年の日本は、人口減少や高齢化により、働く人の数が約400万人減ると予測されています。

事務職はAIやロボットに仕事が置き換わっていく一方で、AIを使いこなす理系の人材や専門職、そして富山県のような地方を支える製造・サービスの現場では、働く人が大きく不足する可能性があります。

これからは、AIを利活用しながら、コミュニケーション力や創造力などの人間ならではの強みを生かして働く時代がやってきます。

全国的に、職種別で「余る人」「足りない人」が出てきます



【経済産業省「2040年の就業構造推計（改訂版）」を基に作成】

富山県でも働く人が大きく不足します

現在の人口 約98万人 2040年は 約85万人 大幅減



【富山県独自の労働需給シミュレーションを基に作成】

将来必要となる人材像・能力（例）

将来を正確に予測することは難しく、どのような未来が訪れるかわからないからこそ、次のような人材・能力が必要となります。

AI・ロボットなどの利活用を担う人材

AI・ロボットなどを「つくる／使う／改善する」力

地域の生活に不可欠なエッセンシャルワーク分野を担う人材

現場で、デジタル技術などを活用する高度な専門性をもったアドバンスト・エッセンシャルワーカーを含む

技術進歩に対応し、働きながら新しいスキルを習得する人材

リスクリング「学び直し」が当たり前

課題発見力と探究心

社会課題を読み解く力、自ら問いを立てる力、他者と共に価値をつくり出す力など

コミュニケーション力と協働力

など

自分がどう生きたいか、どんな人になりたいかなど、将来に向けた自分のキャリアを考えることは単なる仕事選びではありません。

みなさんが様々な進路を選んでいく中で、富山県で働く意義やよさも理解し、将来に向けて活躍できる力を付けていけるよう、自分のキャリアについて考え、学んでいきましょう。

考えよう！

先輩から「働くこと」について学ぶ

社会で活躍する先輩の声を聴いて、自分の未来を思い描いてみましょう。



社会福祉法人おおさわの福祉会
ささづ苑デイサービスセンター（富山市）

笑顔と「ありがとう」が
やりがい

利用者の日常生活を手助けし、自立した生活をサポートする介護福祉士。利用者の入浴や食事、レクリエーションなどのサポートのほか、自宅への送迎や家族からの相談を受けます。

中学生へのメッセージ

中学生のときに体験した手話がとにかく楽しくて、独学で習得したことが今の道につながりました。興味をもったらやってみて、夢中になれるものを見付けてくださいね。

かいご 介護福祉士を目指したきっかけ

中学生のときにオープンハイスクールで手話を体験したことで、福祉に興味をもちました。大好きな祖父母の介護を間近で見て、高齢者のサポートについての専門知識と技術を身に付けたいと思いました。

介護職にやりがいを感じる瞬間 しゅんかん

利用者さんのために考え、仲間と協力し、笑顔で「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたときです。試行錯誤する過程で私自身の視野も広がり、成長できていると感じます。

デジタル技術の活用による仕事の変化

毎日の記録や申し送りの時間が短縮され、利用者さんに向き合える時間が増えました。情報を職員全員でリアルタイムに共有し、利用者さんの見守りや移動を助けるロボットを活用することで、自分たちの体と心にも余裕が生まれました。



インカム（ハンズフリーの通話機器）とアプリを連動させて介護記録を音声入力し、リアルタイムで共有

君の未来を想像しよう

未来に向かって進む道は、たくさんあります。



厚生労働省
職業情報提供サイト（job tag）



富山県で働いている先輩の紹介



未来をつくる新たな高校

～「新時代とやまハイスクール構想」の学校像～

富山県では、生徒のみなさんが幅広い進路選択ができるよう、
全ての県立高校を2038年頃までに、社会の変化に対応した
次の7つのタイプの学校へと再構築する「新時代とやまハイスクール構想」を推進しています。
まず、2029年には「未来探求ハイスクール」と
「グローバルハイスクール」を新しく開設する予定です。

未来探求 ハイスクール 強みを生かした未来設計

スポーツや健康の深い学び

種目毎の専門性の高い指導により、
技術力と人間力を磨きます

一人ひとりに向き合う学び

できる・わかるを積み重ね、
自信につなげます



プログレス ハイスクール 普通科最前線

確かな学力

大学や専門学校への進学や
その先の人生を見据えた
学びに向かう姿勢を醸成します



総合選択 ハイスクール 選べる学び、広がる世界

主体性を育む 「MY 時間割」

興味・関心に応える
多彩な選択科目を提供します



実践 ハイスクール 確かな技術が導く 未来のプロフェッショナル

現場で生きる専門性

本県産業を支えるために
必要な専門的な知識と
確かな技術を磨きます



グローバル ハイスクール 世界と共に生きる国際人

高いコミュニケーション力と 優れた国際感覚

海外の学校と連携した
オンライン交流や海外研修に
より、国際理解を進めます



STEAM ハイスクール ワクワクから 新しい価値の創造

「探究」をとことん

探究活動の授業の時間数を拡充し、
研究手法の習得・教科等横断的な
学びの時間を確保します



地域共創 ハイスクール 地域から広がる可能性は無限大

地域が教室

地域と連携した課題解決型学習
を通じ、自分事として取り組む
主体性を醸成します



とびら
扉の向こうには、どんな未来が待っているでしょう。その未来をつくっていくのは、あなた自身です。さあ、扉を開けて一步を踏み出していきましょう。

まずは、自分の進路や将来のことを家族と一緒に話し合うことから始めましょう。

「新時代とやまハイスクール構想」



令和8年10月 富山県教育委員会

2026 年	歳	2040 年	歳
学校名	氏名		